

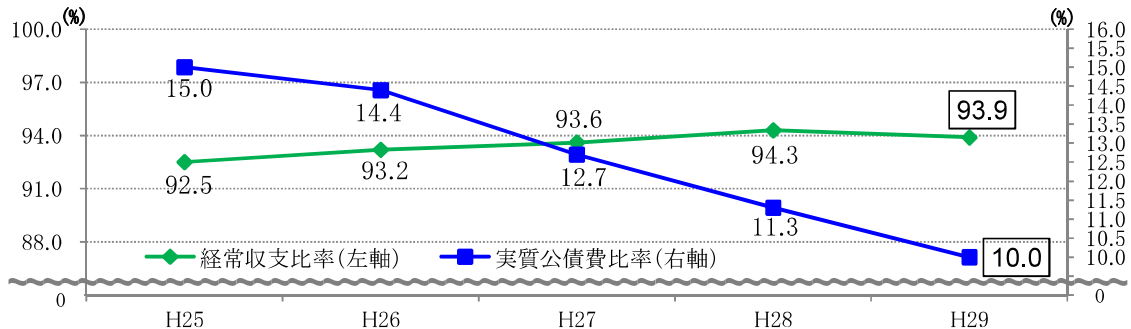
2 財政の健全性

- ・財政健全化4指標はいずれも早期健全化基準以下
- ・財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、県税が増加し、人件費等の義務的経費が減少したため、4年ぶりに改善
- ・公債費の標準財政規模に占める割合を示す実質公債費比率は、元利償還金の減により改善

◆ 経常収支比率 H28 94.3% → H29 93.9%

《財政健全化4指標》

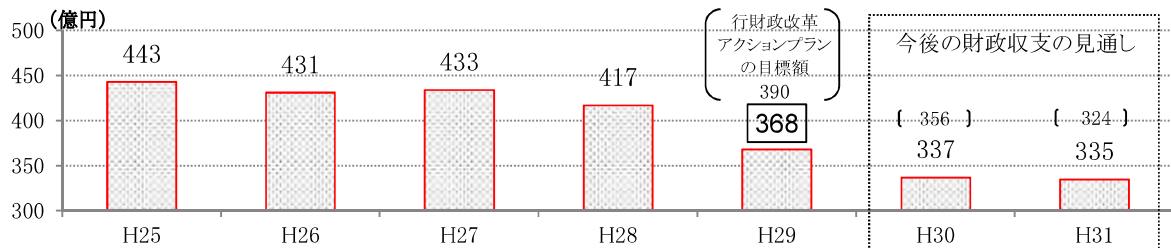
◆ 実質公債費比率	H28	11.3%	→ H29	10.0%	早期健全化基準
◆ 将来負担比率	H28	159.3%	→ H29	162.0%	【25.0%】
◆ 実質赤字比率	H28	なし(参考▲0.84%)	→ H29	なし(参考▲1.00%)	【400.0%】
◆ 連結実質赤字比率	H28	なし(参考▲5.16%)	→ H29	なし(参考▲5.83%)	【3.75%】



3 財政基盤の強化

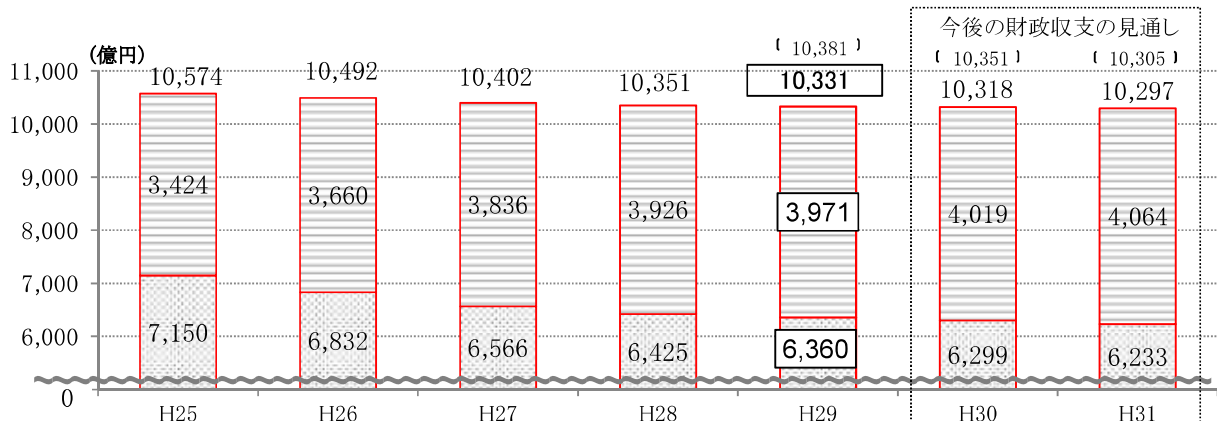
- ・財政調整用基金残高は、度重なる豪雨災害に対応したことなどから、行財政改革アクションプランの目標額より低下
- ・県債残高は、繰上償還などにより4年連続で減少し、臨時財政対策債を除く残高も16年連続で減少

◆ 財政調整用基金残高 H28 417億円 → H29 368億円 (△ 49億円)



◆ 県債残高(一般会計) H28 10,351億円 → H29 10,331億円 (△ 20億円)

(臨時財政対策債除く県債残高 6,425億円 → 6,360億円 △65億円)



□ 臨時財政対策債 □ 臨時財政対策債除き

○ 問い合わせ先
財政課 松垣(内2358)